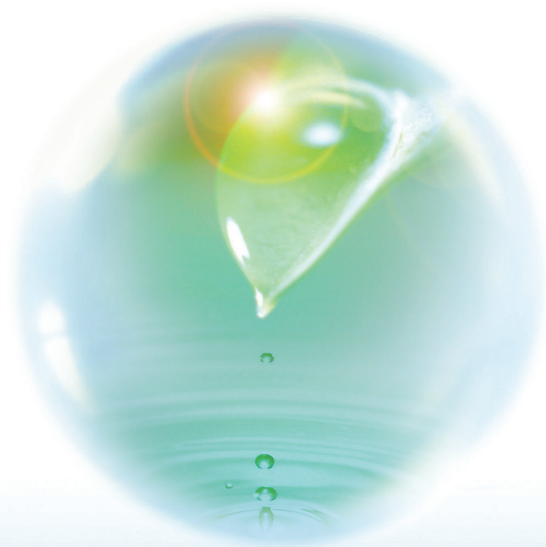


札幌市火葬場・墓地の あり方基本構想

～多死社会を不安なく迎えるために～



令和2年(2020年)3月

札幌市

はじめに

札幌市の人口は、これまで一貫して増え続け、200万人に迫る大都市へと発展しましたが、少子高齢化が進んでいることなどによって、数年のうちに減少し始めることが予想されています。

そして、今後は人口の多い世代の方々が寿命を迎えられ、亡くなる方が多くなる「多死社会」が訪れることが避けられない状況です。

多死社会が訪れると、「火葬件数が増え、火葬場が混雑して希望する日に火葬できない」「後を継いでお墓を管理する人がいないため、お墓が放置される」「一人暮らしの高齢者が、孤立死によって無縁仏になってしまう」など、「人が亡くなったら、火葬をして、お墓で眠る」という、これまで当たり前に行われてきた葬送ができなくなるかもしれません。

しかしながら、こうした火葬やお墓に関することは、これまで札幌市の施策としてあまり触れてこなかったものですし、市民のみなさんの間でも話題になることが少ないと思います。

このような中、多死社会が訪れることによる問題を解決して市民のみなさんの不安を解消するため、そして、いつか誰もが関係する火葬やお墓のことを、自分事として考えるきっかけにさせていただくために、「札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想」を策定しました。

この基本構想に基づき、札幌市が葬送に従事する事業者と連携して、火葬場や墓地などの環境を整備していくのはもちろんですが、市民のみなさんにも、葬送に関する問題をしっかりと理解し、身近な人と一緒に考えていただくことによって、多死社会が訪れることによるさまざまな問題を一緒に乗り越えていきたいと思っています。

みなさん自身や身近な人のために、
まずは考えることから始めていきましょう。

令和2年(2020年)3月

札幌市長 秋元克広

目次

第1章 基本構想の概要

- 1 構想策定の背景・趣旨…………… 1
 - (1) 火葬場や墓地の役割
 - (2) 社会状況に関する背景
 - (3) 基本構想を策定した趣旨
- 2 構想の位置づけと特徴…………… 4
 - (1) 位置づけ
 - (2) 特徴
- 3 構想の対象期間…………… 5

第2章 ビジョン(将来の目指す姿)…………… 6

第3章 札幌市の葬送を取り巻く状況

- 1 葬送に対する意識…………… 7
- 2 火葬場…………… 9
 - (1) 札幌市内の火葬場の概要
 - (2) 火葬件数の増加と偏り
 - (3) 里塚斎場の問題
- 3 墓地と納骨堂…………… 15
 - (1) 札幌市が管理する墓地の状況
 - (2) 札幌市営霊園の問題
 - (3) 札幌市内と近郊市町村の民間墓地と納骨堂の状況
 - (4) 墓地ニーズの多様化
 - (5) 引取者のない遺骨の増加

第4章 基本目標と施策の方向性…………… 25

- 基本目標1 葬送について考え行動する市民の意識を醸成します
- 基本目標2 多死社会においても安定運営可能な火葬場を実現します
- 基本目標3 少子高齢社会に対応した持続可能な墓地を実現します

第5章 各主体の関わり方28

第6章 基本構想の推進にあたって

- 1 協議体の設置 31
- 2 問題の解決手法の検討 32
 - 《市民の意識醸成に関する検討》
 - 《多死社会に対応した火葬場に関する検討》
 - 《少子高齢社会に対応した墓地に関する検討》
- 3 取組の具体化と実践に向けて 36
 - (1) 火葬場、墓地に関する運営計画の策定
 - (2) 取組の実践と進捗確認
 - (3) 基本構想・運営計画の見直し
- 4 ビジョンの実現に向けた施策の全体像 37
- 5 SDGsと本基本構想の関連 38

資料

- 1 札幌市斎場等あり方検討委員会における検討経過 39
- 2 葬送に関する用語集 40
- 3 市民アンケート結果の概要 41
- 4 パブリックコメントの実施結果 42